

今後の課題と 東京歯科大学オープンアクセス方針

東京歯科大学
阿部 潤也

今後について

- 規程の策定
- 歯科大学ならではのリポジトリとは？

2008年6月時点での今後の課題

IRUCA@TDCについて

東京歯科大学 学術機関リポジトリ

IRUCA@TDC
Institutional Resources for Unique Collection and Academic Archive at Tokyo Dental College

東京歯科大学
Tokyo Dental College

Google™ カスタム検索 検索

東京歯科大学 | 図書館

English Japanese

IRUCA@TDC >

ホーム
タイトル
著者
日付

RSS 1.0 RSS 2.0

コンテンツのご利用について

利用統計

記念インタビュー

研究業績

本学鎌学者
血脇守之助

本学ゆかりの
野口英世

いるか
飼育日記

IRUCA@TDCは東京歯科大学の学術成果を公開しています。
[東京歯科大学学術機関リポジトリについて](#)

本サイトにて公開されている学術雑誌論文は、著作権者(出版社や学会等)の意向により著者自身により作成された原稿が含まれています。出版社や学会等が発行した出版物とはレイアウトや言い回し等が異なる場合がありますのでご了承ください。

東京歯科大学オープンアクセス方針について

東京歯科大学は2016年4月12日にオープンアクセス方針を採択しました。

Open Access Week 2015 特別企画 三者連続研究


Open Access Week 2015 特別企画として、三者連続研究


雑誌掲載論文
単行図書
学会等発表資料
研究報告書
歯科学報
[Bulletin of Tokyo Dental College](#)
東京歯科大学教養系研究紀要
学位論文
歯学部卒業論文
歯科衛生士専門学校・卒業研究論文集
東京歯科大学広報
その他

- 歯科機関のリポジトリとしては世界初
- ソフトウェア： DSpace (CMS社委託)
- ハードウェア： 大学提供仮想サーバー
- 登録件数： 3,461 (2016.11 現在)
- 人員： 3名 (兼任)


Copyright(c) 2007-2016 Tokyo Dental College. All Rights Reserved.
IRUCA is powered by [DSpace](#)

いるか飼育日記

いるか飼育日記 

東京歯科大学 学術機関リポジトリ
IRUCAA  TDC
Institutional Resources for Unique Collection and Academic Archives at Tokyo Dental College

Google™ カスタム検索

東京歯科大学 |  図書館

- 1 2 3 4 5.. 次の10件>>

2011年05月11日

● **Effect of smoking on subgingival microflora of patients with periodontitis in Japan**

BMC Oral Health. 2011 Jan 5;11:1.
Effect of smoking on subgingival microflora of patients with periodontitis in Japan.
Kubota M, Tanno-Nakanishi M, Yamada K.

登録の許諾をいただきました。(2011.01.28)

<http://ir.tdc.ac.jp/irucaa/handle/10130/>

公開しました。(2011.05.11)

検索

Y!ウェブ 記事

カテゴリ

トピック(50)

要著作権調査(19)

- コンテンツごとの動きが一目瞭然
著作権確認が必要
エンバーゴ中
登録不可
公開中
- ブログを利用した業務日誌的役割
トピック
出張報告

東京歯科大学オープンアクセス方針

- 策定までの経緯
- 策定後の活動
- これからの今後の課題



策定までの経緯

- 副学長面談（1/29）
- 出版関連責任者ミーティング（2/17）
- データ公開に関するミーティング（3/3）
- 図書委員会（3/31）
- 教授会（4/12）
- アピール開始（5/7）

副学長面談

- 副学長 = 学内学会庶務担当理事
- オープンサイエンス対応状況および今後のオープンアクセス方針策定予定についての調査
 - 機関リポジトリ推進委員会
- 学術情報のオープン化の推進について（中間まとめ）
 - 科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会

学術情報のオープン化の推進について (中間まとめ)

- 3. 研究成果の公開についての基本的方策
- (1) 論文のオープンアクセスについての取組
- 【大学等に期待される取組】
 - 機関リポジトリをグリーンOAの基盤としてさらに拡充する。
 - オープンアクセスに係る方針を定め公表する。

策定までの経緯

- 副学長面談（1/29）
- 出版関連責任者ミーティング（2/17）
- データ公開に関するミーティング（3/3）
- 図書委員会（3/31）
- 教授会・学長制定（4/12）
- アピール開始（5/7）

策定後の活動

- 運用規程の策定
- 各所へのアピール
 - 国内大学5例目、私立大学では初めて
 - 大学ホームページ、DRFメーリングリスト、カレントアウェアネス
- 業績集登録の流れで
- オープンアクセスウィーク
 - オープンアクセス担当者説明会、逸村先生講演

これからの今後の課題

- 実効性のある方針に
- 著者版原稿収集のワークフローの確立
- リポジトリ業務のルーティン化

ご清聴

ありがとうございました。

